

## トピックス

### 理科学機器の大幅需要増加への対応

学習指導要領が改訂され、小・中学校の理科の授業時間が40年ぶりに増加しました。また、政府の「経済危機対策」関連事業として、理科教育設備の緊急整備が行われ、観察・実験を重視した教育環境の充実が図られています。

ヤガミでは、実験器具や補助教材などの関連機器の品ぞろえを拡充し、需要の拡大に対応しております。

独自の工夫を満載した手回し発電機「発電くん」やユニークな放電管、ケース入りクルックス管、真空落下実験器など、数多くの新商品を開発しました。基本的な実験道具である顕微鏡におきましても、新たによりリーズナブルな機種をラインナップに追加しました。これらを掲載したカタログやパンフレットなどを活用し、積極的な販促活動を展開しております。

これからも徹底した品質管理のもと、皆さまの声にお応えできるヤガミブランドの更なる強化に取り組んでまいります。

#### ●手回し発電機 「発電くん」



#### ●生物顕微鏡・ 双眼実体顕微鏡パンフレット



## 株主メモ

事業年度	毎年4月21日から翌年4月20日まで
定時株主総会	7月中旬
基準日	定時株主総会関係 毎年4月20日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	4月20日及び中間配当金を支払う場合は10月20日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所 公告掲載新聞	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 日本経済新聞
上場証券取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場第二部(証券コード7488)

#### ■ご注意

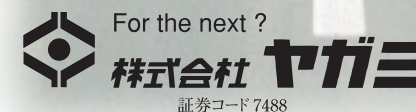
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒460-0002  
名古屋市中区丸の内3丁目2番29号  
TEL 052-951-9252(代表)  
URL <http://www.yagami-inc.co.jp/>

## 第45期 中間報告書

平成21年 4月21日から  
平成21年10月20日まで



証券コード 7488

## 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社の事業運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、平成21年10月20日をもちまして第45期第2四半期を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、昨年秋より続く深刻な経済危機から企業の設備投資の大幅な減少と急激な円高の影響を受け、産業用機器部門の売上高が大きく減少し続けましたが、学習指導要領の改訂に伴う理学機器の需要が大きく増加した結果、売上高は32億48百万円（前年同期比2.0%減）と前年同期に比べほぼ横ばいに推移しました。

利益につきましては、経営全般にわたる合理化・効率化に取り組み、営業利益2億57百万円（同23.3%増）、経常利益2億81百万円（同18.4%増）、四半期純利益1億64百万円（同26.6%増）と増益になりました。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年1月

代表取締役社長 八神 基

## 事業別の概況

### ●理学機器設備部門

連結子会社の平山製作所の滅菌器が、円高や深刻な経済危機の影響を受けたものの、学習指導要領の改訂に伴う理学機器の需要が大きく増加したことから、売上高は18億65百万円（同9.9%増）、営業利益1億73百万円（同87.8%増）となりました。



### ●保健医科機器部門

インフルエンザ関連の需要が増加したものの、米国AEDメーカーからの商品供給が引き続き中断する中、新たなAEDの供給先との取引を開始しましたが、従来の売上をカバーするには至らず、当部門の売上高は9億57百万円（同2.7%減）、営業利益は2億38百万円（同4.1%減）となりました。

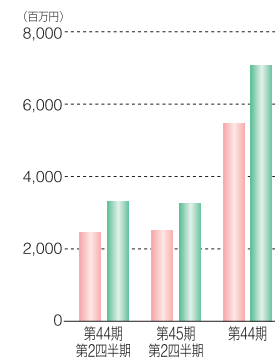
### ●産業用機器部門

民需に対し製造設備の配管部に使用される保温・加熱用電気ヒーター及び物性の寿命を測定する環境試験機器の受注獲得に引き続き注力いたしました。一般的な企業の設備投資の縮小と円高の影響を受け、売上高は4億25百万円（同32.7%減）、営業利益は35百万円（同62.4%減）となりました。

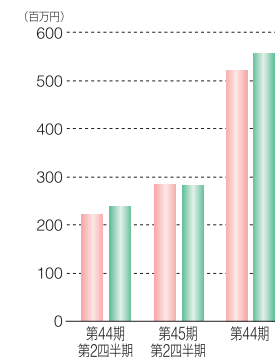


## 今期の業績

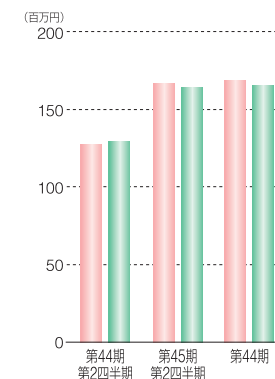
### ■売上高



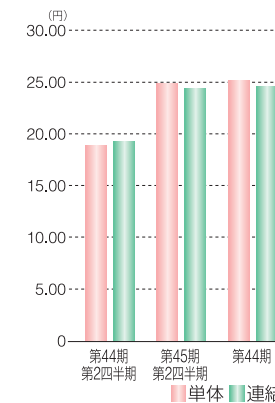
### ■経常利益



### ■中間(当期)純利益



### ■1株当たり中間(当期)純利益



	(百万円)	第44期第2四半期(平成20年10月期)		第45期第2四半期(平成21年10月期)		第44期(平成21年4月期)	
		単体	連結	単体	連結	単体	連結
売上高	(百万円)	2,443	3,314	2,522	3,248	5,441	7,069
経常利益	(百万円)	222	238	284	281	521	557
中間(当期)純利益	(百万円)	127	129	167	164	169	165
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	18.89	19.27	24.85	24.40	25.15	24.52